

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成27年8月27日(2015.8.27)

【公表番号】特表2014-525873(P2014-525873A)

【公表日】平成26年10月2日(2014.10.2)

【年通号数】公開・登録公報2014-054

【出願番号】特願2014-523366(P2014-523366)

【国際特許分類】

**B 6 4 D 41/00 (2006.01)**

**H 0 2 J 3/38 (2006.01)**

**H 0 2 J 3/46 (2006.01)**

**B 6 4 C 25/40 (2006.01)**

【F I】

B 6 4 D 41/00

H 0 2 J 3/38 B

H 0 2 J 3/46 B

B 6 4 C 25/40

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月9日(2015.7.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

補助動力ユニット(220)によって駆動される2つの発電機(216、218)、つまり、航空機の車輪を駆動するための電気モータ(226)を含む電氣的タキシング回路網(214)に電力を供給する第1の発電機と、航空機電気回路網(212)に電力を供給する第2の発電機とを備える地上の航空機用の電力供給装置(210)であって、第1の発電機は、選択可能な接続/切断手段(232)によって航空機回路網およびタキシング回路網に接続され、航空機回路網に接続された場合に、航空機回路網に第1の交流電圧 V a c 2 を送る、またはタキシング回路網に接続された場合に、より高い交流電圧 V a c 1 または電力 P をタキシング回路網に送るのに適しており、さらに、第2の発電機は、接続/切断手段(232)によって航空機回路網に接続され、第1の発電機が航空機の電氣的タキシング回路網に電力を供給している時のみ航空機回路網に第1の交流電圧 V a c 2 を送ることを特徴とする、電力供給装置。

【請求項 2】

発電機(216、218)のうちの一方が、補助動力ユニット(220)を始動させるのに適した始動機/発電機であることを特徴とする、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

補助動力ユニット(220)の始動を制御するために始動機/発電機(216、218)に接続される電子制御式電力ユニット(228、270、272)を含むことを特徴とする、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

第1の発電機(218)が、巻線形回転子励磁による3段式同期発電機であることを特徴とする、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 5】

第１の発電機（２１８）が、航空機回路網に接続された場合に、４００Ｈｚで１１５Ｖａｃの電圧（Ｖａｃ２）および電力９０ｋＶＡを送ることを特徴とする、請求項１から４のいずれか一項に記載の装置。

【請求項６】

第１の発電機（２１８）が、タキシング回路網に接続された場合に、１５０ｋＷの電力を送ることを特徴とする、請求項１から５のいずれか一項に記載の装置。

【請求項７】

第２の発電機（２１６）が、３０ｋＶＡから４０ｋＶＡの電力、および４００Ｈｚで１１５Ｖａｃの電圧Ｖａｃ１を送ることを特徴とする、請求項１から６のいずれか一項に記載の装置。

【請求項８】

請求項１から請求項７のいずれか一項に記載の装置（２１０）を使用して地上の航空機に電力を供給する方法であって、第１の発電機（２１８）によってタキシング回路網（２１４）に電力を供給し、第２の発電機（２１６）を使用して航空機回路網（２１２）に電力を供給するステップと、タキシング機能が使用されていない時に第１の発電機（２１８）を使用して航空機回路網（２１２）に電力を供給し、その際に第２の発電機（２１６）は使用されないステップとを含むことを特徴とする、方法。

【請求項９】

第１の発電機（２１８）が、巻線形回転子励磁による３段式同期発電機であり、この発電機の励磁は、電圧Ｖａｃ１発生器と電圧Ｖａｃ２発生器との間で切り替えるために、または電力Ｐの発電機と電圧Ｖａｃ２発生器との間で切り替えるために電子制御式電力ユニット（２３２）によって制御されることを特徴とする、請求項８に記載の方法。